

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	企業局 総務課
	施策No.	18	施策名	上下水道の整備	施策主管課長名	米山 光広
施策関連課名		環境課、下水道課、企業局経理課、料金課、工務課、浄水管理課				

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等		③ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) * 数字は記入しない																			
市民 基幹管路 下水道整備区域内に生活する市民		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>市人口(各年度4月1日現在の外国人を含む住基人口)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>基幹管路延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>衛生処理人口</td> <td>人</td> </tr> </table>		名称		単位	A	市人口(各年度4月1日現在の外国人を含む住基人口)	人	B	基幹管路延長	m	C	衛生処理人口	人						
名称		単位																			
A	市人口(各年度4月1日現在の外国人を含む住基人口)	人																			
B	基幹管路延長	m																			
C	衛生処理人口	人																			
② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)		④ まちづくり指標 (意図の達成度を表す指標) * 数字は記入しない																			
安定的な水道水の供給 いつでも安心しておいしい水が飲める 生活雑排水の処理が適正に行われ、河川の悪化を防ぐ		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>基幹管路の耐震化率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>「水道の水はおいしい」と回答した市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>生活排水水洗化率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>生活排水整備率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	A	基幹管路の耐震化率	%	B	「水道の水はおいしい」と回答した市民の割合	%	C	生活排水水洗化率	%	D	生活排水整備率	%	E		
名称		単位																			
A	基幹管路の耐震化率	%																			
B	「水道の水はおいしい」と回答した市民の割合	%																			
C	生活排水水洗化率	%																			
D	生活排水整備率	%																			
E																					
<p>・まちづくり指標設定の考え方 (理由、数式も)</p> <p>・まちづくり指標の測定規格 (手段はアンケートか、統計か)</p>		<p>A: 安定供給対策の進捗度を示す。【水道統計に基づく報告値】</p> <p>B: 水道水に対する市民の評価を示す。【市民アンケートの「水道の水はおいしいと感じますか?」において、「感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合】</p> <p>C: 汚水処理施設による生活排水の適正処理状況を示す。【(公共下水道水洗化人口+農業集落排水水洗化人口+合併浄化槽処理人口+コミュニティプラント処理人口)÷衛生処理人口】</p> <p>D: 汚水処理施設の整備に対する進捗度を示す。【衛生処理人口(公共下水道処理区域内人口+農業集落排水処理区域内人口+合併浄化槽処理人口+コミュニティプラント処理区域内人口)÷総人口】</p>																			

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
対象指標	A	人	見込み値	72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
		実績値	72,963	72,715	72,305					
	B	m	見込み値	105,066	105,066	105,066	105,066	105,066	105,066	
		実績値	172,652	105,066	110,370					
	C	人	見込み値	48,519	49,293	49,282	51,261	52,690	54,162	55,674
		実績値	47,879	49,293	49,282					
まちづくり指標	A	%	目標値	未設定	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
		実績値	24.4	30.3	29.6					
	B	%	目標値	60.9	60.9	61.2	61.4	61.6	61.8	62.0
		実績値	57.4	61.0	66.2	63.9				
	C	%	目標値	88.1	89.3	87.2	87.3	87.4	87.5	87.6
		実績値	87.0	88.1	90.2					
	D	%	目標値	70.7	70.7	69.1	71.2	73.4	75.7	78.1
		実績値	66.4	67.8	68.1					
	E		目標値							
	実績値									
関連事業本数			5	4	4	4				
関連事業予算額 (単位:千円)			1,361,014	1,281,768	1,208,486	1,227,099	0	0	0	
(予算額の内訳)	国庫支出金		0	0	0	0				
	県支出金		14,000	14,000	16,650	15,750				
	地方債		201,300	92,400	0	0				
	その他		0	0	0	0				
	一般財源		1,145,714	1,175,368	1,191,836	1,211,349				

目標値の設定の根拠 (前提条件や考え方等)

A: 水道ビジョンに基づき、5年間で約5%の増加を目標値に設定  
 B: 5年間で約1%の増加を見込む[10年間で過去アンケート調査結果の最高値(H23年度62.4%)と同程度を目標値として設定]  
 C: 山梨県生活排水処理施設整備構想2014策定資料(推計値)により、目標値を設定  
 D: 山梨県生活排水処理施設整備構想2014策定資料(推計値)により、目標値を設定

### 3 評価結果

#### 施策の有効性評価

##### ① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)

- 目標値より高い実績値だった  
 目標値どおりの実績値だった  
 目標値より低い実績値だった

##### ※左記の理由

・基幹管路の耐震化率は、計画的に整備を進めた結果、目標値の26%に対して3.6ポイント上回る29.6%だが、前年度からは0.7ポイント下回っている。これは、不明導水管を集計に追加したことによる。  
 ・市民アンケートによる「水道水のおいしさ」に対する満足度は、66.2%で、目標値を5ポイントと上回っている。  
 また、前年度(61.0%)と比べても5.2ポイント上昇している。  
 ・生活排水水洗化率は、1.9ポイント増加し、90.2%となり、目標値の87.2%を上回っている。  
 ・生活排水整備率は、0.3ポイント増加し、68.1%となったが、目標値の69.1%を下回っている。

##### ② 時系列比較(過去5ヶ年の比較)

- 成果がかなり向上した  
 成果がどちらかと言えば向上した  
 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)  
 成果がどちらかと言えば低下した  
 成果がかなり低下した

##### ※左記の理由

・基幹管路の耐震化率は、平成27年度が29.6%で、平成22年度の14.7%から14.9ポイント上昇したが、不明導水管の追加により、対前年度比で0.7ポイント減少している。  
 ・市民アンケートの「水道水のおいしさ」に対する満足度は、平成22年度が57.2%、平成27年度が66.2%と、5年で9ポイント上昇している。  
 ・市民アンケートによると、排水処理施設の整備に対する満足度の肯定系は前年度より1.8ポイント上昇し、否定系は1.2ポイント減少している。  
 ・生活排水水洗化率及び生活排水整備率は、平成27年度の目標値に対し、前者は3ポイント上回り、後者は1ポイント下回っている状況で漸次増加している。

##### ③ 他自治体との成果実績値の比較

- かなり高い成果水準である  
 どちらかと言えば高い成果水準である  
 ほぼ同水準である  
 どちらかと言えば低い成果水準である  
 かなり低い成果水準である

##### ※左記の理由

・基幹管路の耐震化適合率の全国平均(厚生労働省データ)36%(平成26年度)に対し、本市の耐震化適合率は29.6%で、6.4ポイント下回っている。  
 ・生活排水整備率は、本市が68.1%(平成27年度末)であるのに対し、全国平均が84.5%(平成26年度末)、山梨県平均が80.6%(平成26年度末)、近隣では韮崎市が83.1%、甲斐市は91.1%(平成26年度末)となっており、12ポイントから23ポイント下回っている。

##### ④ 住民の期待する成果水準との比較

- かなり高い成果水準である  
 どちらかと言えば高い成果水準である  
 ほぼ同水準である  
 どちらかと言えば低い成果水準である  
 かなり低い成果水準である

##### ※左記の理由

・市民アンケートの「水道水のおいしさ」に対する満足度は63.9%で、否定系の15.6%を48.3ポイントも上回っている。(平成28年度調査結果)対前年度比(平成27年度)では、満足度が2.3ポイント低下している。  
 ・市民アンケートにおける下水道などの排水処理施設の整備に対する満足度の肯定系は、39.6%と低いが、重要度は、重要系が67.8%で環末系の7.3%(平成28年度調査結果)を60ポイントも上回っていることから、排水処理施設整備に対する期待度は大きいと、市民が期待する成果水準には達していないことが伺われる。

### 4 まとめ

#### 施策の課題抽出とその課題解決(成果向上)の方向性と具体的な取組内容

施策の課題抽出	課題解決の方向性	具体的な課題解決・改善内容
施設の老朽化	持続可能な供給を目指すため、計画的な施設の更新及び耐震化を進める。	・施設の重要度や優先度を考慮したうえで、実使用年数の調査結果を基に策定した中長期計画に基づき、施設の更新及び耐震化を計画的に進める。
施設の更新財源の確保と料金収入の減少	料金改定を行う。	・企業債の借入と自主財源(料金等)のバランスを図りながら、健全な経営を持続的に進めていくために、現行の料金体系の見直しを行い、今年度10月検針分から料金改定を実施する。
下水道事業の普及率及び加入率が低い	・効率的、有効的な下水道整備方針としてのアクションプランを策定し、整備促進を図る。 ・広報や戸別訪問などにより、未加入世帯の加入を積極的に行う。	・アクションプランに基づき、優先度の高い地域から下水道整備を実施する。 ・未加入世帯を抽出し、戸別訪問による加入促進や広報紙などによるPR活動を積極的に行う。
下水道事業は、一般会計からの繰出金への依存度が高い	・上下水道料金の一体徴収を開始し、事務の効率化によるコスト縮減と徴収率の向上を図る。 ・下水道事業の適正運営に向けた公営企業会計移行業務を進めていく。	・平成28年12月検針分より、上下水道料金一体徴収を開始できるように計画的に業務を進める。 ・公営企業会計移行に向け、資産調査や組織体制の検討、システム構築に向けた検討などの業務を進めていく。